

スポーツツーリズムの観点から見た

バレーボール競技と観戦

鈴木海南

1 要旨本文

Vリーグの観戦者数が少ないということをバレーボール協会にとって課題ととらえ、観戦者を増やすためには、バレーボール競技のレベルの向上と地域との連帯した活動を増加することの2点が必要であるという仮説をたて、研究を進めてきた。アンケート調査はGoogleフォームを用いてJリーグやVリーグの直接観戦経験のある方150名を対象とした。

結論としては、まず第1章でみてきたように代表チームの強化は、自国リーグに関心を持つきっかけになった。日本のバレーボール競技レベルの向上をすると、メディア露出が増え、話題性も高まる。これが集客につながることを検証された。

さらに第3章でも述べているように、チーム独自でスポンサーを募り、地域で支援者やファンを獲得することで、リーグ観戦者数の増加に期待できることがわかった。つまり、地域との連携強化が図れ、<地域と連携した活動の増加>が観戦者増加につながるようになった。よって、Vリーグの観戦者数を増やすためにはバレーボール競技レベルの向上と地域と連帯した活動の増加が必要であるという仮説が検証された。